



平成26年12月15日

各 位

会社名	虹 技 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 堀田 一之
(コード	5603 東証第1部)
問合せ先責任者	取締役経理部長 谷岡 宗
(TEL	079-236-3221)

(訂正)「平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年12月12日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成23年11月4日付「平成24年3月期 第2四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,335	10.2	377	△36.5	335	△35.1	182	△36.1
23年3月期第2四半期	7,566	14.6	593	92.7	515	111.8	285	136.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 209百万円 (0.1%) 23年3月期第2四半期 209百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.52	-
23年3月期第2四半期	8.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	20,155		8,377		38.1
23年3月期	20,129		8,333		38.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,669百万円 23年3月期 7,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
23年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	8.6	830	△39.6	700	△42.6	370	△39.9	11.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	33,619,637株	23年3月期	33,619,637株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	590,572株	23年3月期	590,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	33,029,093株	23年3月期2Q	33,538,604株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みからの回復はつづいているものの、回復ペースは鈍化してきており、欧州金融不安が強まる中、先行きの不透明さが強まる状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、鋳物事業、新素材事業、機械事業、環境装置事業といった当社の各事業領域の拡大を図るとともに、それらの多角的な力を統合するキーワードとして「虹技の品質」を掲げて事業活動を行い、平成22年度を初年度とする第3次3カ年計画の4つの基本方針である「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」に基づき、重要課題を事業部毎に策定し、その課題達成に向けた諸施策を展開しております。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83億3千5百万円（前年同期比 10.2%増）、営業利益3億7千7百万円（前年同期比 36.5%減）、経常利益3億3千5百万円（前年同期比 35.1%減）、四半期純利益1億8千2百万円（前年同期比 36.1%減）となりました。

なお、上記の経常利益及び四半期純利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益(△は損失)を、△1億2千4百万円（前年同期 2千8百万円）及び △7千3百万円（前年同期 1千6百万円）含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、主要取引先である鍛造メーカー各社の生産計画の見直しを受け、鍛造用鋳型の受注は減少いたしました。特殊鋼メーカー各社の増産体制にともなう特殊鋼用鋳型の需要回復により順調に推移いたしました。自動車用プレス金型鋳物は、海外での金型現地生産化などにより国内金型メーカーからの受注環境は厳しい状況ですが、自動車メーカーなどからの受注活動に注力し、売上高は前年同期を上回りました。大型鋳物は、工作機械用大型鋳物の需要が伸長し、前年同期を大きく上回りました。ロールは、震災の影響により4～6月の売上は落ち込みましたが、7月以降に売上が集中し、順調に回復いたしました。小型鋳物は、東日本大震災の復旧資金として公共事業予算の留保が打ち出され、先行き不透明な状況下、新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋などの新商品の販売エリア拡大により下水道鉄蓋類の売上は順調に推移したものの、電線共同溝用鉄蓋類の低迷により、前年同期に比べ減収となりました。デンスパーは、海外向け需要の増加を受けた産業・工作機械業界からの需要が好調に推移し、加えて震災の影響による調達不安から国内外の販売店による在庫の積み増しなどもあり、引き続き堅調に推移いたしました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司も、現地の好調な需要が継続し、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、69億6千2百万円（前年同期比 10.2%増）、経常利益4億5千2百万円（前年同期比 6.4%減）となりました。

② その他の事業

送風機は、依然厳しい外部環境ではありますが、中国向け鉄鋼関連物件の受注により、堅調に推移いたしました。KCメタルファイバーは、主用途であるブレーキ摩擦材の補修用需要に自動車生産回復による需要が加わり、売上高は前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、震災の影響によりアルミ業界向けに一時的な落ち込みがありましたが、ベアリングメーカー向けの新規受注が奏功し、売上高は前年同期を上回りました。また、鋳鉄の半溶融成形法用として機械メーカーの基幹部品用素材に採用された特殊連続鋳造棒も順調に推移いたしました。環境装置事業は、炉修工事などの保守・メンテナンス工事の受注拡大に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、13億7千2百万円（前年同期比 9.9%増）、経常利益1億3千万円（前年同期比 13.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、118億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千9百万円増加いたしました。これは、主として受取手形及び売掛金が1億9千4百万円、原材料及び貯蔵品が1億7千万円増加したことなどによります。

固定資産は、82億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千4百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、201億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千5百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、75億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千3百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が2億9千1百万円減少したことなどによります。

固定負債は、42億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千4百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が4億4百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、117億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、83億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千4百万円増加いたしました。これは、剰余金の配当による減少と四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末との38.2%から38.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ4億1千3百万円減少し、34億8千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、3億3千4百万円の減少(前年同四半期連結累計期間 6億5千3百万円 増加)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3億3千5百万円、減価償却費4億4千8百万円による資金の増加とたな卸資産の増加3億8千7百万円、仕入債務の減少2億7千6百万円、法人税等の支払3億2千万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、4億3千3百万円の減少(前年同四半期連結累計期間 5億1千2百万円 減少)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出4億3千3百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、3億6千9百万円の増加(前年同四半期連結累計期間 3億8千9百万円 増加)となりました。主な内訳は、借入金の増加5億6千5百万円による資金の増加と配当金の支払1億6千5百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年8月1日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,904	3,491
受取手形及び売掛金	4,972	5,166
商品及び製品	<u>938</u>	<u>1,033</u>
仕掛品	<u>849</u>	<u>983</u>
原材料及び貯蔵品	782	952
繰延税金資産	<u>97</u>	<u>135</u>
その他	135	185
貸倒引当金	△75	△63
流動資産合計	<u>11,604</u>	<u>11,884</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,225	1,206
機械装置及び運搬具(純額)	2,168	2,046
土地	795	795
その他(純額)	921	1,036
有形固定資産合計	<u>5,111</u>	<u>5,084</u>
無形固定資産	22	20
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015	937
前払年金費用	2,236	2,086
その他	161	144
貸倒引当金	△24	△2
投資その他の資産合計	<u>3,390</u>	<u>3,165</u>
固定資産合計	<u>8,525</u>	<u>8,270</u>
資産合計	<u>20,129</u>	<u>20,155</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540	3,248
短期借入金	2,365	2,537
未払法人税等	331	196
賞与引当金	90	125
その他	1,528	1,455
流動負債合計	<u>7,857</u>	<u>7,563</u>
固定負債		
社債	210	180
長期借入金	2,828	3,233
繰延税金負債	615	522
未払役員退職慰労金	75	63
退職給付引当金	63	74
環境対策引当金	140	136
その他	5	4
固定負債合計	<u>3,939</u>	<u>4,214</u>
負債合計	<u>11,796</u>	<u>11,777</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	586	586
利益剰余金	<u>5,029</u>	<u>5,046</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,551</u>	<u>7,568</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	152
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	△58	△48
その他の包括利益累計額合計	<u>139</u>	<u>101</u>
新株予約権	6	6
少数株主持分	636	701
純資産合計	<u>8,333</u>	<u>8,377</u>
負債純資産合計	<u>20,129</u>	<u>20,155</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,566	8,335
売上原価	<u>6,105</u>	<u>7,023</u>
売上総利益	<u>1,461</u>	<u>1,311</u>
販売費及び一般管理費	867	934
営業利益	<u>593</u>	<u>377</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	12
受取保険金	17	—
貸倒引当金戻入額	—	11
その他	7	13
営業外収益合計	<u>36</u>	<u>38</u>
営業外費用		
支払利息	64	55
その他	50	24
営業外費用合計	<u>114</u>	<u>80</u>
経常利益	<u>515</u>	<u>335</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>515</u>	<u>335</u>
法人税、住民税及び事業税	166	194
法人税等調整額	<u>23</u>	<u>△98</u>
法人税等合計	<u>189</u>	<u>96</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>326</u>	<u>238</u>
少数株主利益	41	56
四半期純利益	<u>285</u>	<u>182</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>326</u>	<u>238</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△47
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△49	17
その他の包括利益合計	<u>△116</u>	<u>△29</u>
四半期包括利益	<u>209</u>	<u>209</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>192</u>	<u>144</u>
少数株主に係る四半期包括利益	16	65

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	515	335
減価償却費	488	448
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	34
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	△12
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	—	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	0	10
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△31	△4
受取利息及び受取配当金	△12	△12
支払利息	64	55
固定資産処分損益 (△は益)	1	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△370	△108
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△104	△387
仕入債務の増減額 (△は減少)	236	△276
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△54	150
その他	7	△190
小計	795	30
利息及び配当金の受取額	12	12
利息の支払額	△63	△57
法人税等の支払額	△90	△320
営業活動によるキャッシュ・フロー	653	△334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△343	△433
投資有価証券の取得による支出	△169	△0
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512	△433
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△66	156
長期借入れによる収入	882	1,100
長期借入金の返済による支出	△589	△690
社債の発行による収入	293	—
社債の償還による支出	—	△30
自己株式の取得による支出	△28	△0
配当金の支払額	△100	△165
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	389	369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	506	△413
現金及び現金同等物の期首残高	2,840	3,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,347	3,485

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	6,318	1,248	7,566	—	7,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,318	1,248	7,566	—	7,566
セグメント利益	<u>483</u>	150	<u>634</u>	△118	<u>515</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△1億1千8百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億3千4百万円、営業外収益が3千6百万円、支払利息を除いた営業外費用が△5千万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益が2千8百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	6,962	1,372	8,335	—	8,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,962	1,372	8,335	—	8,335
セグメント利益	<u>452</u>	130	<u>583</u>	△248	<u>335</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△2億4千8百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億3千7百万円、営業外収益が3千8百万円、支払利息を除いた営業外費用が△2千4百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益(△は損失)が△1億2千4百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

【訂正前】



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,335	10.2	432	△24.6	390	△21.3	215	△21.4
23年3月期第2四半期	7,566	14.6	573	86.3	496	103.8	273	126.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 242百万円 (22.6%) 23年3月期第2四半期 197百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.51	-
23年3月期第2四半期	8.16	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,199	8,422	38.2
23年3月期	20,141	8,345	38.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,714百万円 23年3月期 7,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	8.6	830	△39.6	700	△42.6	370	△39.9	11.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名） 、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	33,619,637株	23年3月期	33,619,637株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	590,572株	23年3月期	590,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	33,029,093株	23年3月期2Q	33,538,604株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みからの回復はつづいているものの、回復ペースは鈍化してきており、欧州金融不安が強まる中、先行きの不透明さが強まる状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、鋳物事業、新素材事業、機械事業、環境装置事業といった当社の各事業領域の拡大を図るとともに、それらの多角的な力を統合するキーワードとして「虹技の品質」を掲げて事業活動を行い、平成22年度を初年度とする第3次3カ年計画の4つの基本方針である「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」に基づき、重要課題を事業部毎に策定し、その課題達成に向けた諸施策を展開しております。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83億3千5百万円（前年同期比 10.2%増）、営業利益4億3千2百万円（前年同期比 24.6%減）、経常利益3億9千万円（前年同期比 21.3%減）、四半期純利益2億1千5百万円（前年同期比 21.4%減）となりました。

なお、上記の経常利益及び四半期純利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益(△は損失)を、△1億2千3百万円（前年同期 2千8百万円）及び △7千3百万円（前年同期 1千6百万円）含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、主要取引先である鍛造メーカー各社の生産計画の見直しを受け、鍛造用鋳型の受注は減少いたしました。特殊鋼メーカー各社の増産体制にともなう特殊鋼用鋳型の需要回復により順調に推移いたしました。自動車用プレス金型鋳物は、海外での金型現地生産化などにより国内金型メーカーからの受注環境は厳しい状況ですが、自動車メーカーなどからの受注活動に注力し、売上高は前年同期を上回りました。大型鋳物は、工作機械用大型鋳物の需要が伸長し、前年同期を大きく上回りました。ロールは、震災の影響により4～6月の売上は落ち込みましたが、7月以降に売上が集中し、順調に回復いたしました。小型鋳物は、東日本大震災の復旧資金として公共事業予算の留保が打ち出され、先行き不透明な状況下、新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋などの新商品の販売エリア拡大により下水道鉄蓋類の売上は順調に推移したものの、電線共同溝用鉄蓋類の低迷により、前年同期に比べ減収となりました。デンスバーは、海外向け需要の増加を受けた産業・工作機械業界からの需要が好調に推移し、加えて震災の影響による調達不安から国内外の販売店による在庫の積み増しなどもあり、引き続き堅調に推移いたしました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司も、現地の好調な需要が継続し、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、69億6千2百万円（前年同期比 10.2%増）、経常利益5億7百万円（前年同期比 9.3%増）となりました。

② その他の事業

送風機は、依然厳しい外部環境ではありますが、中国向け鉄鋼関連物件の受注により、堅調に推移いたしました。KCメタルファイバーは、主用途であるブレーキ摩擦材の補修用需要に自動車生産回復による需要が加わり、売上高は前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、震災の影響によりアルミ業界向けに一時的な落ち込みがありましたが、ベアリングメーカー向けの新規受注が奏功し、売上高は前年同期を上回りました。また、鋳鉄の半溶融成形法用として機械メーカーの基幹部品用素材に採用された特殊連続鋳造棒も順調に推移いたしました。環境装置事業は、炉修工事などの保守・メンテナンス工事の受注拡大に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、13億7千2百万円（前年同期比 9.9%増）、経常利益1億3千万円（前年同期比 13.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、119億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千2百万円増加いたしました。これは、主として受取手形及び売掛金が1億9千4百万円、原材料及び貯蔵品が1億7千万円増加したことなどによります。

固定資産は、82億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千4百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、201億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、75億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千3百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が2億9千1百万円減少したことなどによります。

固定負債は、42億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千4百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が4億4百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、117億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、84億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千7百万円増加いたしました。これは、剰余金の配当による減少と四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と変わらず38.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ4億1千3百万円減少し、34億8千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、3億3千4百万円の減少(前年同四半期連結累計期間 6億5千3百万円 増加)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3億9千万円、減価償却費4億4千8百万円による資金の増加とたな卸資産の増加4億4千3百万円、仕入債務の減少2億7千6百万円、法人税等の支払3億2千万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、4億3千3百万円の減少(前年同四半期連結累計期間 5億1千2百万円 減少)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出4億3千3百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、3億6千9百万円の増加(前年同四半期連結累計期間 3億8千9百万円 増加)となりました。主な内訳は、借入金の増加5億6千5百万円による資金の増加と配当金の支払1億6千5百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年8月1日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,904	3,491
受取手形及び売掛金	4,972	5,166
商品及び製品	<u>944</u>	<u>1,092</u>
仕掛品	<u>863</u>	<u>1,000</u>
原材料及び貯蔵品	782	952
繰延税金資産	<u>89</u>	<u>104</u>
その他	135	185
貸倒引当金	△75	△63
流動資産合計	<u>11,616</u>	<u>11,929</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,225	1,206
機械装置及び運搬具(純額)	2,168	2,046
土地	795	795
その他(純額)	921	1,036
有形固定資産合計	<u>5,111</u>	<u>5,084</u>
無形固定資産	22	20
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015	937
前払年金費用	2,236	2,086
その他	161	144
貸倒引当金	△24	△2
投資その他の資産合計	<u>3,390</u>	<u>3,165</u>
固定資産合計	<u>8,525</u>	<u>8,270</u>
資産合計	<u>20,141</u>	<u>20,199</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540	3,248
短期借入金	2,365	2,537
未払法人税等	331	196
賞与引当金	90	125
その他	1,528	1,455
流動負債合計	<u>7,857</u>	<u>7,563</u>
固定負債		
社債	210	180
長期借入金	2,828	3,233
繰延税金負債	615	522
未払役員退職慰労金	75	63
退職給付引当金	63	74
環境対策引当金	140	136
その他	5	4
固定負債合計	<u>3,939</u>	<u>4,214</u>
負債合計	<u>11,796</u>	<u>11,777</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	586	586
利益剰余金	<u>5,041</u>	<u>5,090</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,563</u>	<u>7,613</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	152
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	△58	△48
その他の包括利益累計額合計	<u>139</u>	<u>101</u>
新株予約権	6	6
少数株主持分	636	701
純資産合計	<u>8,345</u>	<u>8,422</u>
負債純資産合計	<u>20,141</u>	<u>20,199</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	7,566	8,335
売上原価	<u>6,125</u>	<u>6,967</u>
売上総利益	<u>1,441</u>	<u>1,367</u>
販売費及び一般管理費	867	934
営業利益	<u>573</u>	<u>432</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	12
受取保険金	17	—
貸倒引当金戻入額	—	11
その他	7	13
営業外収益合計	<u>36</u>	<u>38</u>
営業外費用		
支払利息	64	55
その他	50	24
営業外費用合計	<u>114</u>	<u>80</u>
経常利益	<u>496</u>	<u>390</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>496</u>	<u>390</u>
法人税、住民税及び事業税	166	194
法人税等調整額	<u>15</u>	<u>△75</u>
法人税等合計	<u>181</u>	<u>119</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>314</u>	<u>271</u>
少数株主利益	41	56
四半期純利益	<u>273</u>	<u>215</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>314</u>	<u>271</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△47
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△49	17
その他の包括利益合計	<u>△116</u>	<u>△29</u>
四半期包括利益	<u>197</u>	<u>242</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>181</u>	<u>177</u>
少数株主に係る四半期包括利益	16	65

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	496	390
減価償却費	488	448
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	34
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	△12
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	—	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	0	10
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△31	△4
受取利息及び受取配当金	△12	△12
支払利息	64	55
固定資産処分損益 (△は益)	1	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△370	△108
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△84	△443
仕入債務の増減額 (△は減少)	236	△276
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△54	150
その他	7	△190
小計	795	30
利息及び配当金の受取額	12	12
利息の支払額	△63	△57
法人税等の支払額	△90	△320
営業活動によるキャッシュ・フロー	653	△334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△343	△433
投資有価証券の取得による支出	△169	△0
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512	△433
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△66	156
長期借入れによる収入	882	1,100
長期借入金の返済による支出	△589	△690
社債の発行による収入	293	—
社債の償還による支出	—	△30
自己株式の取得による支出	△28	△0
配当金の支払額	△100	△165
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	389	369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	506	△413
現金及び現金同等物の期首残高	2,840	3,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,347	3,485

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	6,318	1,248	7,566	—	7,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,318	1,248	7,566	—	7,566
セグメント利益	<u>463</u>	150	<u>614</u>	△118	<u>496</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△1億1千8百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億3千4百万円、営業外収益が3千6百万円、支払利息を除いた営業外費用が△5千万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益が2千8百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	6,962	1,372	8,335	—	8,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,962	1,372	8,335	—	8,335
セグメント利益	<u>507</u>	130	<u>637</u>	△247	<u>390</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△2億4千7百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億3千7百万円、営業外収益が3千8百万円、支払利息を除いた営業外費用が△2千4百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による利益(△は損失)が△1億2千3百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。